



テーマ・内容	手法	目指す成果
第3回「将来を見据えた公共施設の再編」 ・まちづくりの視点（交通、将来人口）から、再編案を検証する。	・地区ごとの将来人口、施設面積、施設の交通利便性のポイント化による再編施設の評価と地域の実情に応じ、再編案の妥当性を検証。	・再編施設の再検討案

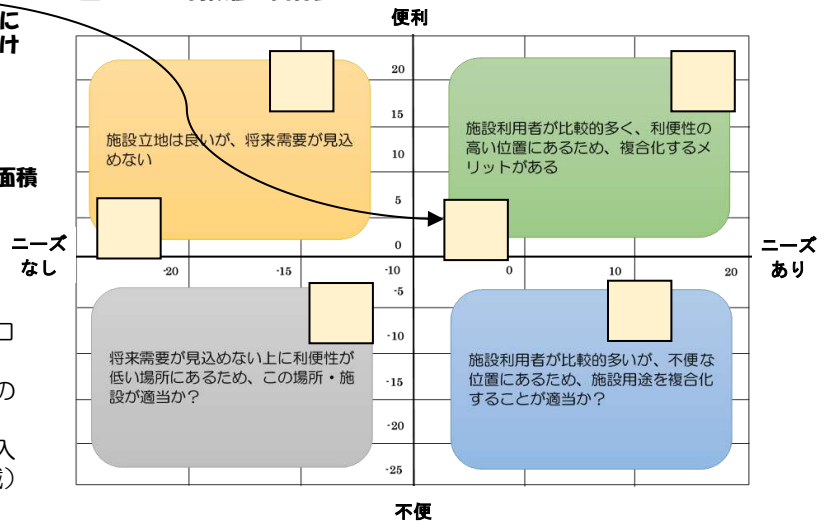
## Step1. 複合案施設カードを模造紙（ニーズ×利便性）に貼り付け

- 第1, 2回のWSで検討頂いた施設の複合案（廃止案や民間案は除外）に、基礎データ（①施設が立地する地域のニーズ、②交通利便性、③施設面積）のポイントに記載した複合案施設カード※を作成しました。
- 複合案施設カードの中の、施設カードとは編入される側の施設（受け皿になる施設）、その中の機能カードは編入する施設（移動する施設）を指します。
- 施設カード（機能カードと一緒に）を各施設が立地する「①地域のニーズ」と「②交通利便性」のポイントに応じて模造紙の該当する位置に貼り付けてください。
- このとき上記ポイントに寄る貼り付け位置と、地域の実情にかい離がある場合、貼り付けの位置を地域の実情に応じて調整してください。

※複合案施設カード



■ニーズと利便性の関係図



- ① ニーズ…地区別15年後の将来人口を偏差値化し、ポイント化。
- ② 利便性…施設と市内のバス停までの距離をポイント化。
- ③ 施設面積…編入される側の面積編入する施設の面積（機能カードに記載）を偏差値化し、ポイント化。

## Step2. 複合施設ごとに再編案が妥当か検証

- プロットした施設のうち、再編案に再検討の余地がある施設について、機能カード同士の入れ替え・移動を行ってください。
  - このとき、再編案に再検討の余地がある施設は特に「ニーズと利便性の関係図」の青色、グレー色、黄色部分に貼り付けられた施設が該当するため、これらの施設について、上図の記載事項を念頭に、編入される側の施設（受け皿になる施設）のポイント等に留意して調整してください。
  - 移動や入れ替えだけでなく、規模縮小、廃止等も視野に入れて検討してください。
  - なお、点数による妥当性の検証に加え、地域の実情に留意して検討してください。また、地区を跨いでの入れ替えも視野に入れて調整ください。
- ※機能の入れ替え・移動を行う場合は、その理由をポストイットに記載ください。

### **(Step3. 再編施設の再検討案についての課題の洗い出し)**

- ・再編施設の再検討案についての課題が挙げられる場合は、ご意見お願いいたします。

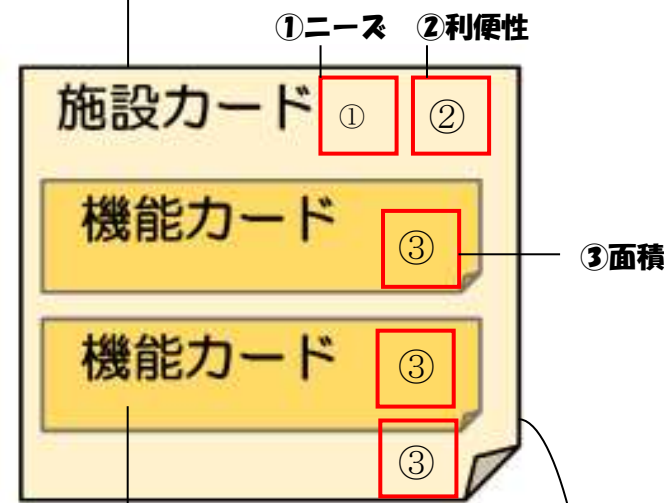
### **タイムスケジュール**

- 18:00～ 1. 開会 司会：経営改革課
- 18:05～ 2. 前回のおさらい【約10分】
- 18:15～ 3. グループワークの進め方【約10分】
- 18:35～ 4. グループワーク 『「将来を見据えた公共施設の再編」』【約80分】  
途中休憩【約15分程度】
- 19:55～ 5. 今後のスケジュール【約5分】  
・今後の委員会等の日程・内容について説明
- 20:00～ 6. 閉会

### 1. 施設カードの説明

編入される側の施設（受け皿になる施設）について

① 地域のニーズ、②利便性、③面積を示したカードです。



編入する施設（移動する施設）について、  
③面積を示したカードです。

### 2. ポイントの算出の仕方についての説明

#### ① ニーズ

- 施設が立地する地区のニーズを将来人口で指標化しました。
- 各地区の15年後の3階級別人口（0-14歳、15-64歳、65歳以上）をそれぞれ偏差値化。
- 偏差値化された値を右表のポイントに振り分け、3階級別人口の平均値を、施設の立地する地区のニーズの値としました。

#### ② 利便性

- 施設が立地する地区の利便性を公共交通までのアクセスのしやすさで指標化しました。
- 施設と市内のバス停までの距離を計測。
- 距離を右表のポイントに振り分け、それぞれの利便性（施設のアクセスしやすさ）の値としました。

#### ③ 面積

##### (1) 施設カードの面積

- 編入される側の施設（受け皿になる施設）の空き面積を記載。
- 施設の現在空面積が発生していれば基準ポイントとして10ポイントとし、さらに空面積÷100を四捨五入した数値を加えて算出

例) 空面積が456㎡の場合、 $456 \div 100 = 4.56 \rightarrow 5$  ∴空ポイント：10+5=15

##### (2) 機能カードの面積

- 編入する施設（移動する施設）の面積を記載。
- 施設の建築面積/100の値に、0.9をかけて（編入することで共用化される部分の面積が減ることを考慮）算出。

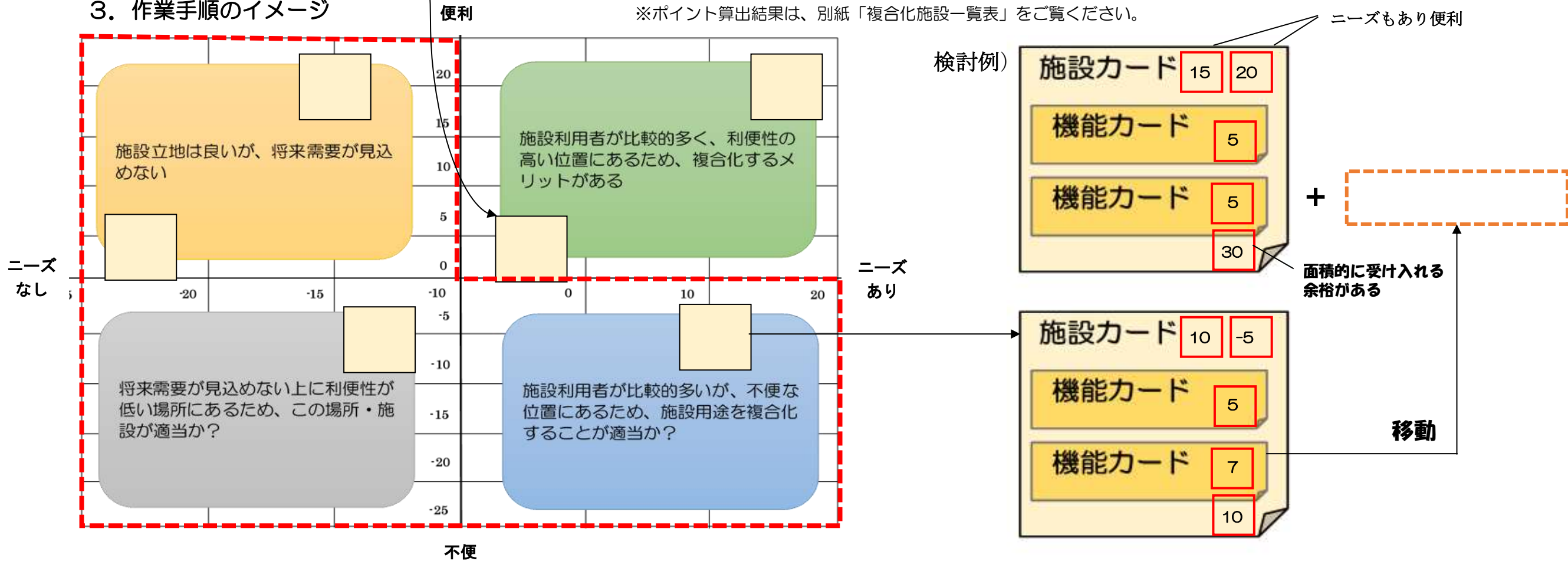
(機能カードの面積=建築面積/100×0.9)

※ポイント算出結果は、別紙「複合化施設一覧表」をご覧ください。

■利便性のポイント

距離	点数
3分未満 0~240m	20
3~5分 240~400m	10
5~10分 400~800m	0
10~15分 800~1200m	-10
15分以上 1200m~	-20

### 3. 作業手順のイメージ



Step1. 複合案施設カードを模造紙（ニーズ×利便性）に貼り付け



Step2. 複合施設ごとに再編案が妥当か検証

複合化施設一覧表

地区	複合化施設		15年後の人口増減率による ニーズポイント	バス停からの距離による 利便性ポイント	想定空教室数	面積 (×65㎡)	空ポイント	備考
新治地区	新治分館	→ 新治小学校	-17	0	3	195	12	
本納地区	本納小学校	→ 本納中学校	-10	20	8	520	15	※1
豊岡地区	豊岡幼稚園	→ 豊岡小学校	-10	5	4	260	13	
東郷地区	東郷第2学童クラブ	→ 東郷小学校	3	0	4	260	13	
二宮地区	二宮福祉センター	→ 二宮小学校	3	5	4	260	13	※面積的に納まらない
二宮地区	西陵中学校	→ 緑ヶ丘小学校	3	0	0	0	0	※1
豊田地区	豊田小学校	→ 富士見中学校	3	-5	0	0	0	※1
茂原地区	西小学校	→ 茂原小学校	0	10	0	0	0	※1
五郷地区	五郷福祉センター	→ 早野中学校	-13	-5	3	195	12	※面積的に納まらない
	五郷小学校							
鶴枝地区	鶴枝公民館	→ 鶴枝小学校	-3	20	4	260	13	※1
	鶴枝保育所							
地区	複合化施設		ニーズポイント	利便性ポイント	想定空教室	×38㎡	空ポイント	備考
新治地区	新治保育所	→ 本納保育所	-17	-5	4	152	12	1学級19人×2=38㎡
五郷地区	五郷保育所	→ 五郷幼稚園	-13	-15	2	76	11	
鶴枝地区	中の島幼稚園	→ 中の島保育所	-3	0	2	76	11	
本納地区	本納支所	→ 本納公民館	-10	0			-	複合化による面積縮減
東郷地区	社会教育センター	→ 総合市民センター	3	15			10	※貸室機能は総合市民センターで代用可能か
茂原地区	中央公民館	→ 茂原市役所	3	0	17,148×3%=514㎡ (市民利用可能な部分を延床面積の3%と想定)		15	※面積的に納まらない
	シルバー人材センター							
	図書館							
	美術館・郷土資料館							
茂原地区	市民会館	→ 市民体育館	3	15			10	※面積的に納まらない

地区別ポイント一覧

地区	区分	点数
茂原	0-14歳	0
	15-64歳	10
	65歳以上	0
	平均点数	3
東郷	0-14歳	0
	15-64歳	0
	65歳以上	10
	平均点数	3
豊田	0-14歳	0
	15-64歳	0
	65歳以上	0
	平均点数	0
二宮	0-14歳	0
	15-64歳	-10
	65歳以上	20
	平均点数	3
五郷	0-14歳	-20
	15-64歳	-10
	65歳以上	-10
	平均点数	-13
鶴枝	0-14歳	0
	15-64歳	0
	65歳以上	-10
	平均点数	-3
本納	0-14歳	-10
	15-64歳	-10
	65歳以上	-10
	平均点数	-10
新治	0-14歳	-20
	15-64歳	-20
	65歳以上	-10
	平均点数	-17
豊岡	0-14歳	-20
	15-64歳	-10
	65歳以上	0
	平均点数	-10

※1 面積ポイントと空ポイントの数値上では納まらないが、児童生徒数の減少を勘案し、1学級の人数を増やす等の対応を行うことによって複合化の可能性が考えられる施設  
 空ポイントは、空面積が発生していれば基準ポイントとして10ポイントとし、さらに空面積÷100を四捨五入した数値を加えて算出  
 例) 空面積が456㎡の場合、456÷100=4.56→5 ∴空ポイント:10+5=15